

# ミズオオバコ

Ottelia japonica Miq.

トチカガミ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

## 選定理由

従来は白山高地区を除き、県内に広く分布したが1960年代以降急減して、きわめて稀産の種類となった。産地もほとんど限定されている。(現況:R-)

## 形態

茎は短く、葉は根生して葉柄があり、葉身は披針形～広卵形～円形。花は両性花が普通で、かく片は3、花弁も3、雄しべは6本。果実は2～5cmで縦にひだのあるのが特徴。

## 国内分布

本州、四国、九州、琉球に分布。アジア、北アフリカ、オーストラリアなどに広く分布。

## 県内分布

内浦区、外浦区、中能登区、口能登区、加賀中央区、南加賀区に分布。

## 生態など

沈水性一年生草本、まれに多年生。水深により葉の形、大きさが非常に異なる。

## 生育環境

かつての水田雑草であるが、現在は貯水池、溜池などに残存して生育。

## 危険要因

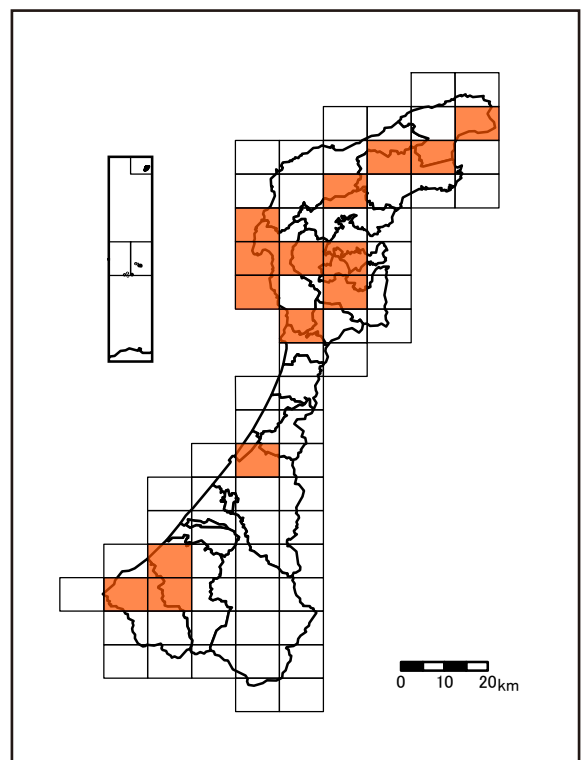
池沼開発、農薬汚染、水田等の埋め立てによる土地造成、自然遷移など。

## 特記事項

角野康郎(1994)に従い、ミズオオバコとオオミズオオバコは区別しない。



本多郁夫・2003年8月24日・加賀市



県内の分布